

第1回 治験業務に関するワールドカフェ 参加者募集

テーマ：これからの治験はどう変わっていくのか、

みんなで楽しく語り合おう！

～キーワードは症例集積性・DCT（分散化臨床試験）・適正な治験費用～

治験を取り巻く環境は年々変化を遂げています。デジタル技術の進展を背景に、IoT（Internet of Things）やICT（Information and Communication Technology）などの手法や技術を活用した、いわゆる治験のDX（Digital Transformation）化は加速しています。

特に最近ではドラッグロス・ラグが問題となっており、この解消に向けた取り組みとして厚生労働省から「治験の更なる効率化エコシステムについて」が公表されました。中でもDCTはその一例であり、日本全国から被検者登録が可能になるほか、症例集積性の向上と共に症例登録のスピードを加速することができます。

また、治験コストの透明化の推進も期待されているところです。日本の治験コストは医療機関毎のバラツキが大きく不透明と言われていています。グローバルスタンダードとされるFMV（Fair Market Value）/BMC（Bench Mark Cost）の日本での導入が検討されているところですが、採用する医療機関が増えない現状にあります。

今回は、症例集積性・DCT（分散化臨床試験）・適正な治験費用をキーワードに気軽に楽しく語り合う「治験業務に関するワールドカフェ*」を企画しました。PhRMA/EFPIAの方々と共に参加者の意見や知識を共有し、変化を遂げる治験環境について、様々な情報を交換できる機会にしたいと考えています。

*ワールドカフェ：少人数に分かれたテーブル（グループ）で自由に気軽に対話し、メンバーを入れ替えたりすることで、多くの方の意見を聞くことができるディスカッション手法です。

参加を希望される方は、以下 URL または QR コードからお申込みください。

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=9710578846909564&EventCode=6141130595

申込期限は、**2025年2月1日（土）**です。

なお、募集人数に達しましたら、申込期限前でも募集を終了させていただきます。



◆開催日時：**2025年2月15日（土）13時から17時30分**

◆開催方法：**東京都健康長寿医療センター及びWeb会議システム（Zoom）によるHybrid開催**

◆主催：東京都病院薬剤師会（都病薬）

◆プログラム：

<講演>

「国際共同試験と治験エコシステム（40分）」 欧州製薬団体連合会 臨床部会 内田 智広

「症例集積性・DCT・適正な治験費用に関する疑問と課題（20分）」

国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 稲吉 美由紀

<ワールドカフェ（120分）>

<Q&A（60分）>

◆対象：治験業務に携わっている方（今後携わる予定の方を含む）

薬剤師のみならず、他職種の方およびSMO、製薬企業、CROにご所属の方も参加いただけます。

◆参加募集人数：40名（現地参加者およびWEB参加者を合わせて。定員に達し次第受付終了）

◆参加費：都病薬会員1,500円、非会員3,000円

◆意見交換会開始から終了まで参加された方には以下を交付いたします。

- ・修了証（出席者全員、終了後に郵送いたします）
- ・日病薬病院薬学認定薬剤師制度2.5単位（研修番号Ⅱ-6 申請した薬剤師のみ）（予定）
- ・日本臨床薬理学会認定CRC制度が認める研修会5点（出席者全員）（予定）
- ・日本SMO協会の公認CRC・公認SMAの更新ポイント1点（公認CRC・公認SMAのみ）（予定）

<問い合わせ窓口> 東京都病院薬剤師会事務局 山崎 メールアドレス：info@thpa.or.jp

※演者や演題が予告なく変更になる場合がありますので、ご承知おきください。

※天候不良や災害等で研修会を中止する場合は、都病薬ホームページにてお知らせしますのでご確認ください。

主催：一般社団法人東京都病院薬剤師会